

ちばYOSAKOI 2026

千葉県の秋の風物詩
ちばの新しい文化となることを目指して

10/4
(日)



10/3(土)は
千葉中央公園で
前夜祭も開催！

2004年から千葉の新しい文化として千葉市を拠点に始めたちばYOSAKOI。2011年よりメイン会場を市原に移し、市原市の主催する上総いちほら国府祭りと共催で今年もちばYOSAKOI2026を開催致します。

よさこい鳴子踊りは四国高知県より発した72年の歴史のある祭りで今や全国にお祭りやチームが存在しています。

ここ市原市に、北は北海道 南は九州から35チームが参加しパレード演舞を競います。一次審査によって選ばれたチームによって行われる頂点を狙うファイナルコンテストはとても見応えのあるものとして好評です。

その昔、市原市に国府が置かれていたという歴史にピッタリの産官学民によるちばYOSAKOI2026、この感動はきっとあなたの心に届くと信じています。

ちばYOSAKOI実行委員長 金崎 勉

ちばYOSAKOIの審査方法。

審査のコンセプトは「いいものはいい。」

ちばYOSAKOI参加
全チーム

ちばYOSAKOI
審査委員会

パレードBを審査

ちばYOSAKOI
ファイナルコンテスト
10チーム

ちばYOSAKOIの審査は、どうしたら偏りなく演舞を評価できるかを考え、全体のバランスを総合的に判断してもらるように準備しています。今年はブロック分け制度を取りやめ、全チームを公平に審査する方法を採用。また、審査員席だけでなく、会場のどこからでも審査することが可能な「全方位審査」方式を取り入れています。

えっ？

観客のみなさまも審査に挑戦できる！？

ちばYOSAKOIを観ているあなたも、審査をやってみませんか？
参加チームの演舞を対象にした人気投票を実施中！！（一人一回まで）

※1 注意事項をご確認の上ご参加ください。

※2 観客による人気投票は、審査委員会による審査結果には反映されません。

詳細は投票フォームから！



全国津々浦々35チーム

今年は35チームの参加です。北は北海道から南は熊本県まで。全国に広まったよさこいの幅広さに触れていただくと幸いです。よさこいチームの作品にはテーマがあります。歌詞や衣装のデザインの中に、その土地ならではの魅力が隠されているかもしれません。

参加チームの紹介ページはこちらから！



いざッ！踊りを繰り、衣装が舞う。

12:00~@パレードABC会場



パレード会場の魅力は、踊り子との距離感です。伝わる熱気、表情の一つ一つから、よさこいのエネルギーを感じてください！また、パレードB会場では審査委員会が総力をあげて一次審査を行っています。ファイナルコンテストの切符は誰の手に・・・

飛び入り企画
みんなde「よっちょれ」



総乱舞「よっちょれ（さあさみんなでどっこいしょ）」を踊る。「ちばYOSA踊り子隊」には誰でも参加できます。タイムスケジュールでも演舞時間を確認しよう！

13:00@パレードC
13:30@メインステージ
14:15@パレードB

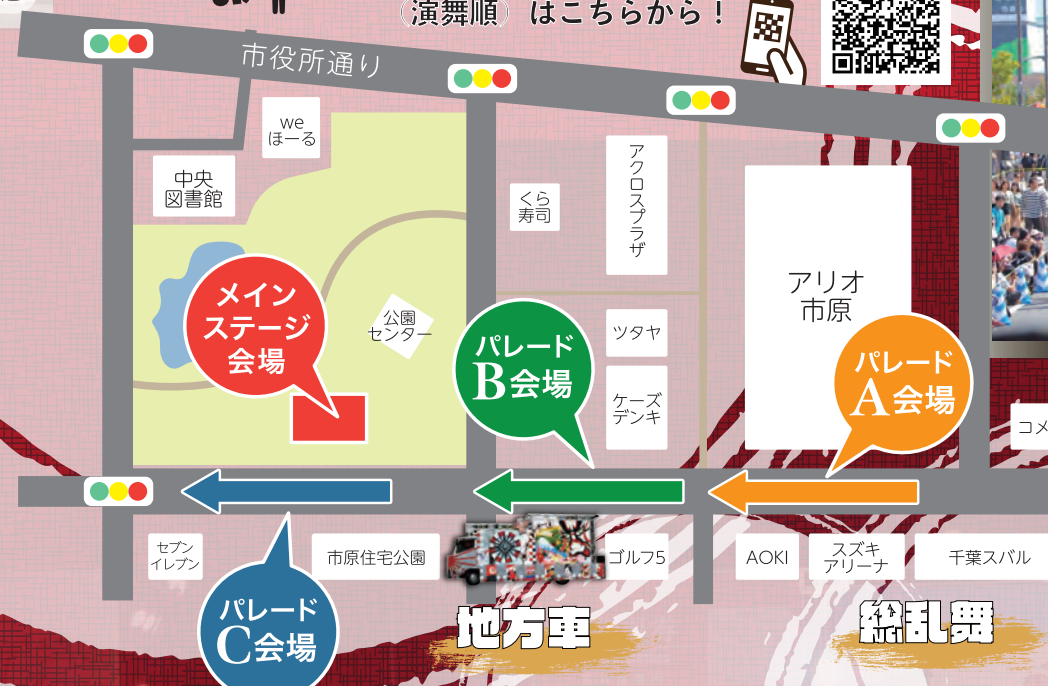
これぞよさこい！500mパレード

16:24~@パレードABC会場

地方車を先頭に、参加チーム全員で、A会場からC会場まで練り踊ります。この姿こそ「よさこい」。観客と踊り子の境目を無くし、全員参加で道幅いっぱいを埋め尽くすぞ！！



各会場のタイムスケジュール
(演舞順) はこちらから！



ちばYOSAKOI
学生実行委員会

県内の大学生を主に、当日の会場運営を務めます。司会進行、審査集計、チーム誘導...、お祭りを開催するって奥が深い。活動の様子等、情報発信はこちらのQRコードをチェック！



CHIBA
YOSAKOI